

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県下体育施設がクローズされていました。各市町に立ち上げているカローリングクラブは、静岡県カローリング協会指導のもとに活動を自粛していましたが、感染予防対策をしっかりと行うことを条件に、令和2年6月17日御殿場・小山カローリングクラブの月例練習会を御殿場市民交流センター「ふじざくら」で開催いたしました。



御殿場・小山カローリングクラブ



カローリング協会 岡田会長

待ちに待った練習会に参加された会員は、施設内入館時に念入りな手の消毒を行い、全員マスク着用で感染防止に努めていました。

静岡県カローリング協会会長の岡田さんは、御殿場・小山カローリングクラブの代表を兼ねており、感染防止の注意点説明には多くの時間を割き、参加者に理解を求めています。



ウイルス対策消毒液



挨拶は拍手で

練習試合開始に当たっては、各選手が手で握るジェットローラーのハンドル部分を消毒液で消毒した後、整列し試合前の相手選手と交わす握手を廃止し、拍手を持って試合に臨み挨拶とします。

コロナウイルス感染を考えた、これからの新しい試合開始方式になります。

第一試合は、御殿場チームVS応援参加で駆けつけた裾野カローリングクラブ「すみれチーム」との対戦です(写真右)。



ファーストプレイヤー山下さん



目標位置を示す岡田会長

第一プレイヤーは、応援出場に参加された裾野カローリングクラブの山下さん(チーム:すみれ)です。ジェットローラーの軌跡を予想しポイントゾーンに投球出来るよう、対戦相手チームにも拘わらず指導に精を出す御殿場チームで出場の岡田会長(写真右)は大忙しです。



[狙いを定めて](#)



[狙うはポイントゾーン赤印](#)

ここでも岡田会長は、御殿場チームのファーストプレイヤーの背後から、ソーシャルディスタンスを保ちながら熱心に投球指導を行い、御殿場・小山カローリングクラブの底上げに余念がありません。熱心な指導の甲斐あって、ポイントゾーンの赤3点内に橙色のジェットローラーが入っています。



[副主将投球](#)



[ポイントゾーンは密集](#)

第2試合目に入りました。御殿場チーム副主将2回目の投球の様子です(写真左)。チームメイトもソーシャルディスタンスを保ち無言での応援ですが、以前と変わらない心の通ったチームワークが伺え、会場の雰囲気は以前にもまして盛り上がりを見せていました。

1試合目と異なり各選手は、レーンの特徴を捉えてジェットローラーを確実にポイントゾーンに近づけた投球を行っています。

各選手の動きも当初に比べ機敏な動作が見受けられ、健康づくりに適した21世紀コミュニケーションスポーツとしてお勧めします。



[投球ポイント指示](#)



[勝又主将投球](#)

自チーム投球者に、コース指示を出す御殿場チームの勝又臣慎さん・神代子さんご夫妻(写真左)。勝又ご夫妻は、御殿場・小山カローリングクラブの練習のみならず、裾野市、長泉町で行っている練習会にも出向き練習を重ね技術向上に努めています。

写真右は、最終投球の勝又臣慎主将の雄姿です。

自粛後に開催された久しぶりの練習会は、新型コロナ感染予防を意識しての開催でしたが、参加者の皆さんにお聞きすると、久しぶりに体を動かし距離をとりながらも仲間とのコミュニケーションを図り、ストレス発散も出来、元気を取り戻すことが出来たとの答えが返ってきました。

今回の練習会を通じて、施設側の感染予防対策の徹底により安心しながら競技を行うことが出来たこと、参加選手の予防対応は今後の新しいクラブの活動姿となるでしょう。

- ①入館時消毒液による手の消毒徹底
- ②マスク全員着用要請
- ③窓を開け換気の徹底

④椅子・机は使用后、施設管理者による除菌・消毒の励行
また、カローリングクラブ側の感染予防対策としては、

- ①全員マスク着用
- ②選手同士の接触禁止(開始整列時の握手を拍手に変更)
- ③ソーシャルディスタンスの励行
- ④ジェットローラーハンドルの消毒
- ⑤風邪、味覚障害、発熱者は参加不可

細心の注意を払い感染予防を行ったうえで、安心して競技の出来る喜びを味わい、幸せな時を過ごすことが出来ました。

今後も「感染させない・感染しない」この言葉を肝に銘じ、私達が守るべき行動の下、多くの仲間達と新しい活動方法を取り入れ長続きする競技活動を進めていきたいと思ひます。

取材:富士・富士宮・北駿地区担当 生きがい特派員 渡邊英機